

あおやま
青山もん!



あおやまちゅうがっこう

青山中学校だより

№05 2023.9月号

発行者 青山中学校長



全国学力学習状況調査の結果(報告)

今後のさらなる取組の充実をめざして

毎年4月、全国の小学6年と中学3年対象で「全国学力学習状況調査」を実施しています。この調査では、教科に関する調査《中学校では、国語・数学、加えて今年度は英語を実施》と生徒(児童)に対しての生活習慣や学習環境に関する質問紙調査が行われます。本年度の調査結果の状況をお伝えします。成果や課題を全学年の保護者の皆さまと共有し、今後の取組を充実させていきたいと考えます。

1 教科に関する調査結果より

■全国平均と比べた本校生徒の教科調査結果は…



国語	数学	英語
全国と比べて やや上回っている	全国と比べて ほぼ同じである	全国と比べて やや上回っている

□教科別の傾向

国 語	<p>○「読むこと」の領域は、全国の平均正答率を上回り、「古文と現代語を比較して文章を書く」問題は、難易度が高いが全国を上回る正答率でした。読むことの領域で、読み取った上で問題を解くため、読む力も書く力も必要です。両方が備わって力を発揮することができた結果です。</p> <p>△「知識および技能」の領域は、全国の平均正答率を上回る結果でした。「正しい漢字を書く」「古文の語句に対応する言葉を現代語訳で書かれた文章から抜き出す」等の理解はよくできていますが、「文章を二つに分け、後半のまとまりに見出しをつける」「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」問題の正答率が下回っているため、授業でも反復練習を行います。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域は、全ての問いで全国の平均正答率を上回る結果でした。中でも難易度の高い「読解の仕方を自分の言葉で書く」正答率が高く、1年生の頃から授業で「自分の意見をまとめる」ことに取り組んできた成果が現れていると考えられます。</p>
数 学	<p>○「数と式」の領域は、全国の平均正答率を上回る結果でした。特に「分配法則を使った式の計算」が定着しています。さらに「与えられた計算において、結果がいつでも3の倍数になることを説明する」正答率は全国を上回り、文字式を利用して説明する力がついてきています。</p> <p>△「図形」の領域は、全国の平均正答率を下回る結果でした。「2直線が平行であることを、条件に沿って証明する」や「二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線が書けないことについて、二等辺三角形の性質の中から成り立たなくなる式を書く」問題の正答率が低かったです。長文や与えられた図から必要な情報を抜き出し、筋道を立てて説明することに課題があります。引き続き、授業の中で考えたことを説明する機会を設け、さまざまな図形を扱う際に、既習の図形の性質を根拠として問題を解く力をつけていきます。</p> <p>○「関数」の領域は、全国の平均正答率を上回る結果でした。特に「1次関数の利用」の問題の正答率は全国を上回っており、グラフを読み取る力がついてきたことが分かります。「データの活用」の領域は、全国の平均正答率とほぼ同じ結果でしたが、問題別に見ると「箱ひげ図」や「累積度数」などの正答率が低かったです。近年は入試問題に出題されることも増えてきています。再度、登場する用語の意味を正しく理解することから復習していきます。</p>

英 語

○「短答式」で「書くこと」の問題が全国の平均正答率を上回る結果でした。授業の中で、板書の英文の質問に対し「自分の答えや考えを書く」活動の成果が出ていると考えられます。

○グラフの選択問題が全国の平均正答率を上回る結果でした。教科書の文章だけでなく、デジタル教科書等の様々な資料を見比べ、正確な情報を得る機会が多く作られている成果が出ていると考えられます。

△リスニングは、情報が複数あるものは1つしか聞き取れていません。キーワードとなる語を聞き逃さないように、授業の中で意識して英文を聞く機会をさらに多く作る必要があります。

△記述式問題について、正答率も高い一方、無解答率も高いです。与えられたテーマがあるものについてはよくできていましたが、テーマが幅広いと正答率が全国に比べて大幅に下回っています。個々の力に違いがありますが、学年・クラスとして、全体的な底上げができるよう、短答式からまとまりのある内容の文章が書けるよう練習機会を積み重ねていきます。

学校では、昨年度のみネスタディチェック等の考察から、「自分の考えをまとめ、伝える力の育成」について、全教科で取組を進めています。どの教科においても、今、子どもたちがもっている力をより一層伸ばしていくために、学んだ知識を活用する問いを考え、基礎的な知識と伝える力を同時に養うことができる学習活動をめざし、授業の中でグループ活動を取り入れたり、ペアで説明しあったりして、対話する活動の充実を図っていきます。1学期ご協力いただいた「学校生活アンケート」あるいは自由参観でも、肯定的な評価もいただきましたが、一方でご指摘もいただいております。今後も生徒たちとともによりよい「授業づくり」に努めていきます。

2 生徒質問紙の調査結果より

教科の調査結果とあわせて考えておきたいのが、学習状況や生活習慣等に対する調査（生徒質問紙）です。アンケート形式（合計72問）で、自分を振り返る機会となる内容です。本校の特徴を肯定的な回答（①当てはまる ②どちらかといえば当てはまるの合計）で示します。「学習のこと」「生活のこと」で気になる部分でいくつか項目について紹介します。

(1) 学習にかかわって

おも しつもんないよう 主な質問内容	ほんこう こうていき かいどう ぜんこく 本校の肯定的な回答（全国）
いえ じぶん けいかく た べんきょう 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。（予習や復習を含む）	75.4%（55） 〔昨年度は76.0%〕
がっこう じゅぎょうじかんいがい 普段（月～金）どれくらい勉強しますか。 （学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上 50.9%（33.7） 〔昨年度は35.3%〕
どようび や日曜日など学校の休みの日にどれくらい勉強しますか。 （学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上 45.3%（40） 〔昨年度は57.4%〕
がっこう じゅぎょうじかんいがい 学校の授業時間以外に、1日にどれくらい読書しますか。	30分以上 35.8%（28.4） 〔昨年度は24.1%〕

スポーツもそうですが、練習もせずにいきなり本番でいいプレーはできません。3年生の家庭学習時間への意識が高まっています。教科の時間配分を考え、数学の練習時間も増やすと良いと思います。平日2時間以上、休日で4時間以上を家庭学習をめざしつつ、学校で「わかった」ことを自分でできるように…。ご家庭でも話題にしてみてください。

(2)スマートフォンなどにかかわって

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか。	53.7% (69.5)
普段(月～金)どれくらいテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか。	2時間以上53.7% (50.3)
普段(月～金)どれくらい携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(学習する時間やゲームをする時間は除く)	2時間以上57.5% (52.0)



家庭学習の時間を作り出す(生み出す)ためには、スマートフォンの時間を「少なくする」ことが重要になります。また、スキマ時間を読書タイムにあてていくことは、国語だけでなく、各教科の総合力にも影響します。1、2年生の皆さんは余裕のある時期にぜひ読書の楽しさを感じてください。もう一方で、生活リズムを整え、からだを健康に保てることも、何事に挑戦するうえでも「やる気パワー☆」につながります。

(3) そのほか生活にかかわって(家庭学習時間以外で良い結果の一例)

先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。	92.5% (87.3)
先生はわかるまで教えてくれますか。	90.6% (88.9)
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	73.5% (66.4)
学校に行くのは楽しいですか。	83.0% (81.8)
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	84.9% (77.6)
家で計画を立てて勉強をしていますか。	75.4% (55.0)
地域や社会をよくするために何をすべきが考えることがありますか。	69.8% (63.9)



2学期の始業式で「自分の夢や目標に恋しよう♪」というお話をしました。生徒の皆さんにとって、「楽しさ」や「やりがい」はすべての学びの土台にもなります。自分がやるべきことに対して、「少ししんどいけど、ココの部分だけはがんばってみようかなあ」「はじめは嫌だったけど、やっていくうちに『できるかも』って感じるようになった」等の気持ちをふくらませるためには、自分自身の努力に加えて、なかまの存在も大切です。クラス(学年)や部活動…学校行事などがそのことを感じ取れる場になるよう、教職員も今ある課題解決(改善)に向けて努めていきます。ご家庭でも応援よろしくお願いします。



ホームページ・Web(ウェブ)日記を更新中です。

画面上のタイトルを押すと、さまざまな場面・様子の写真と文章が出てきます。
夏休み中の一コマ、部活動の大会、お世話になったPTA環境整備作業、9月の避難訓練・防災学習、マナー講座(2年生)の様子などなど掲載しています。ぜひご覧ください。お茶の間の話題に少し登場することができれば幸いです。

